Ⅲ 改善策

平成28年度全国学力・学習状況調査の結果に見られる本県の課題の改善に向けて、 千葉県教育委員会は、ちばっ子「学力向上」総合プラン(新ファイブ・アクション)の各 事業内容を点検するとともに、重点的に取り組むべきことについて、市町村教育委員会と 連携して、各学校の指導改善を支援していきます。

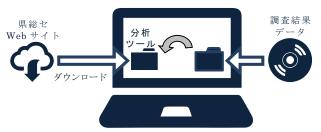
また、支援の一環として、次の1~5を示します。

1	分析ツール	結果分析のためのデータ処理作業を簡便化し、分析結果を見やすいグラフに可視化するソフトを、千葉県総合教育センターのWebサイトで提供しています。97ページ参照
2	みんなで、それぞれの立場で指導改善	指導改善に当たり、教育委員会及び 学校が取り組む内容を例示します。 98ページ参照
3	指導改善サイクルの例	学校が指導改善サイクルを運営する際に必要な業務内容及び手順等を例示します。 99ページ参照 チェックシートは102ページ参照
4	指導改善サイクルの実践事例	千葉県教育委員会指定の「全国学力・学習状況調査検証事業」協力校で 実践された指導改善サイクルを掲載します。 100,101ページ参照
5	学力向上に役立つ情報(Ⅳ資料 2)	ちばっ子「学力向上」総合プランを はじめとする千葉県教育委員会の取組 や、文部科学省・国立教育政策研究所 の全国学力・学習状況調査関連の資料 等についての情報を、まとめて分かり やすく掲載します。 105~107ページ参照

1 分析ツール

市町村教育委員会及び学校による全国学力・学習状況調査の結果分析に基づく成果と課題の 実態把握や指導改善サイクルの確立を支援するため、千葉県総合教育センターでは、分析ツールを提供しています。

分析ツールとは



分析ツールは,文部科学省から配付された調査結果データを自動計算するソフトです。主に以下のことをすることができます。

〇教科・質問紙分析ツール

教科(国語,算数·数学)や質問紙(学校質問紙,児童生徒質問紙)について,チャート図で調査結果の全体概要を把握することができます。課題がみられる項目や成果を確認することができます。過去の調査結果を同時に読み込ませることで,経年変化の分析も可能です。指導改善の成果を確認することができます。

〇誤答分析ツール

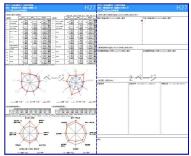
教科(国語,算数·数学)に関する調査で,課題がみられた項目や設問について,解答類型ごとの反応率を分析することができます。児童生徒の学習のつまずきを確認することができます。

〇クロス集計<u>ツール</u>

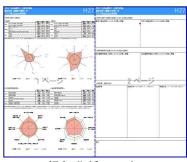
児童生徒質問紙調査で課題がみられた項目や質問について,調査に関する調査結果との相関を分析することができます。児童生徒の生活習慣や学習習慣と学力の関係を確認することができます。

簡易な操作*で「教科・質問紙シート」、「経年分析シート」、「誤答分析シート」「クロス集計シート」を作成することができます。 各シートには数値やグラフが自動で表示されますので、成果と課題を視覚的に把握することができます。

*マニュアルも同時にダウンロードできます。



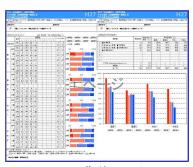
教科・質問紙シート



経年分析シート



誤答分析シート



クロス集計シート

分析ツールの入手方法 (千葉県総合教育センターのWeb サイトからダウンロードしてください)



※ダウンロードに必要なパスワードは, 県指導課学力向上室長発の文書 (平成28年8月23日付 事務連絡)

2 みんなで、それぞれの立場で指導改善

全国学力・学習状況調査を活用した指導改善を進めるに当たり、千葉県教育委員会が取り組む内容を示すとともに、市町村教育委員会及び学校が取り組む内容を例示しました。 各市町村及び各学校の実態に合わせて指導改善を進めてください。

	○本県の結果を分析し、成果と課題を明確にし、県民に公開すると
	ともに、教育施策の検証・改善を図る。
千葉県教育委員会	○「分析ツール」を提供し、各市町村教育委員会及び各学校の結果
T 未 示	分析及び指導改善を支援する。
	○「指導改善サイクルの例」「学力向上に役立つ情報」を提供し、各
	学校の指導改善を支援する。
	○自市町村の結果分析,教育施策の検証・改善及び学校への支援等
	を行う組織を整える。
市町村教育委員会	 ○市町村の結果を分析し,成果と課題を明確にするとともに,教育
	施策の検証・改善を図る。
	 ○管内の学校の結果分析及び指導改善を支援する。
	体制づくり
	・結果分析及び指導改善策の立案を行う校内組織を整える。
	・市町村教育委員会と連携し、必要な支援を受ける。
	企画・調整
	『四
	組み込む。
	・本調査に関する資料や学力向上に役立つ情報を管理・収集し,
	校内での情報共有を図る。
	<u>分析</u> ・県作成の「分析ツール」等を用いて自校の結果データを分析し,
学校	成果と課題を明確にする。
	・各教科で誤答分析シートを作成し、指導改善の具体策を策定す
	る。
	・調査対象以外の学年や教科においても、分析結果を共通理解し
	た上で、それぞれ指導改善の具体策を策定する。
	指導改善
	・分析結果に基づき策定された指導改善策を実行・検証する。
	・授業研究を伴う校内研修の充実を図る。
	・他学年・他教科と連携し、学校全体で課題を共有する。
	情報公開
	・成果と課題,指導改善策について,家庭・地域に情報提供を行
	い,連携を深める。

3 指導改善サイクルの例

各学校において全国学力・学習状況調査を活用した指導改善サイクルを運営していくためには、全職員が一体となり、家庭・地域と連携して、組織的・計画的に取り組む必要があります。次の例及び留意点を参考にして、各学校の実態に合わせて指導改善サイクルを確立してください。

(例)

	団 . 周の新さ	校内の動き		
	国・県の動き	業務	指導改善のあり方	
4 月	国:調査実施(問題・正答例・解説資料)	指導計画作成,指導改善サイクルの策定, 授業開始 調査内容の把握		調査内容及び
5 月	国:集計支援ツール	解説資料の研究		解説資料を反
6 月		研修 (指導改善策の検討)		映させる
7 月	国:サンプルデータ	分析準備		
8月	国:結果(データCD・報告書・個票)	研修 (結果データの見方)	研	
9 月	国:授業アイディア例 県:分析ツール	結果公表 結果分析 研修(分析結果の報告,授業アイディア例 の研究) 指導改善策の策定	究授業(随時	分析結果及び 授業アイディ ア例を反映さ せる
10月	県:リーフレット	指導改善策の公表		
11月	県:学力向上交流会 国:次年度調査の準備開始			指導改善によ
12月	県:報告書	研修(指導改善状況の確認)		る成果を評価
1月				する
2月				
3 月		指導改善サイクルの総括 次年度の指導体制づくり		

(留意点)

- ○全国学力・学習状況調査に係る情報管理,結果分析,指導改善策の策定・評価等を行 う校内組織を整える。
- ○学校全体で取り組む。
- ○年間を通じて、継続的、段階的に指導改善を行う。
- ○国・県・市町村から届く資料等に対応し、速やかに分析・立案等を行う。
- ○県作成の分析ツールを活用する。
- ○国立教育政策研究所, 県教育委員会, 県総合教育センター等のWebサイトにある学力向上に役立つ情報(105~107ページ参照)を活用する。
- ○校内・校外研修を活用する。
- ○指導改善の成果を評価する時期・方法を具体化する。
- ○調査の分析結果について,近隣の小中学校と成果と課題を共有する。
- ○家庭・地域への情報公開を積極的に行う。
- ○指導改善サイクルを可視化し, 共有する。

4 指導改善サイクルの実践事例

市原市立若葉小学校

確かな基礎学力を身につけ、生き生きと学ぶ児童の育成をめざして

○ 実践の概要

本校では、平成25年度より全国学力・学習状況調査を活用し、学力向上を目指した実践に取り組んでいる。特に基礎基本の定着を図るための取組を中心に実践を行ってきた。

1 基礎学力テストの実施

漢字の読み書き、計算について学年ごとに自作のテストを行い、基礎基本の定着状況を把握するとともに、家庭学習に取り組むきっかけとしている。年に5回、全校同一日に実施して、より確実な基礎基本の定着を目指している。

2 放課後の補習(若葉塾)の実施

算数において基礎基本の定着が十分でない児童を対象に市原市教委作成スキルアップドリルやちばっこチャレンジ 100を用いて放課後の補習を実施している。毎週木曜日の放課後に2~6年生を2部に分け、(部活動が全て終了する12月からは、週4回実施)、いちはら学習サポーターや学生ボランティアなどの学校支援ボランティアも活用して、指導にあたっている。



3 夏季休業中に学習相談を実施

夏季休業中に3~6年生を対象に算数の基礎基本の確実な定着を目指し、全職員で指導を行っている。

4 チャレンジタイムの実施

毎週木曜日の朝自習の時間を「チャレンジタイム」とし、全校一斉に 100 マス計算などのプリントを行う時間を設けている。100 マス計算などに取り組むことにより、集中力や計算力を養うことをねらいとしている。

5 自主学習コーナーの設置

職員室の近くの廊下に自主学習コーナー「ガンバろう下」を設置し、休み時間や放課後に子ども達が自由に自主学習できるコーナーを設けている。学習に取り組もうとする雰囲気作りを行い、職員室にいる職員で個別の学習支援を行っている。

6 成績優秀者の表彰

千葉県標準学力テストにおいて成績上位者 (全学年各教科 90 点以上)の表彰を修了式で行っている。本校児童の実態から意欲付けを図る ための一助として取り組んでいる。

7 学習推進便りの発行

児童の学力向上には、家庭での生活習慣や家庭学習の習慣が不可欠である。そこで、若葉小の学力向上に関する取組や学校での学習の様子などを中心にお知らせする学習推進便り「学力向上」を発行している。





【学習推進便り】

【学力優秀賞の賞状】 (90点以上の教科の☆がつく)

8 中学校との連携

中学校との連携強化を図るため、合同の生徒指導会議や教務主任会議を行っている。また、合同教科部会(年2回)や相互授業参観等も実施し、小中のつながりを意識した授業や生徒指導の方法を検討し、実践している。6年生は、特に中学校との連携を意識し、中学校の教師による出前授業を実施したり、中学校と同じ学習の約束(授業の約束3箇条)を掲示したりして中学校進学を意識させている。

芝山町立芝山中学校

生徒の表現力(記述力)の向上を目指す実践

<実践例 記述問題への対応>

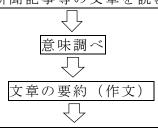
1 読んで書く実践

文章のまとめ方は、形を統一し、結論一理由一結論の形式で表記させる。はじめの「結論」では、ゴールの部分を表し、「理由」では、その理由や自分の主張の証拠を書く。最後の「結論」でゴールの部分を再度表す。生徒が書いた作文については、学級担任だけではなく、国語担当や学年主任も添削を行った。週に1回朝読書の時間を活用し、継続的に書かせること(訓練)を徹底させた。

これらの実践が本校生徒の記述問題正答率の向上に影響したといえる。また,生徒の 作文への苦手意識がなくなっている。文章を書く機会を多く設定したことで成果が得ら れたと言える。

2 本校の作文指導について

実施時間 朝読書(月に1・2回程度) 実施方法 新聞記事等の文章を読む



自分の考えを文章にまとめる (作文)

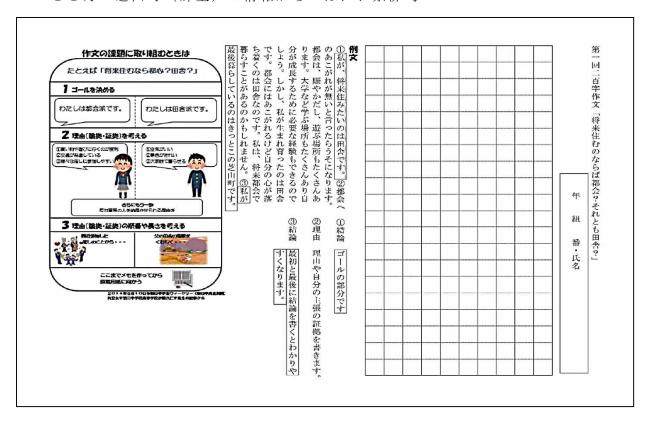
実施内容

7月 200字作文 「住むなら都会?田舎?」

9月 200字作文 新聞記事から 意味調べ400字作文

10月 新聞記事から 意味調べ400字作文

11月 芝山町(郷土)の情報から はにわ祭俳句



○全国学力・学習状況調査を活用した指導改善サイクルのチェックシート

全国学力・学習状況調査を活用した指導改善サイクルの運営状況を確認するためのチェックシートを 例示します。各学校の実態に合わせて活用してください。

	チェック項目		実施日 等			
調査	調査実施前					
	年間指導計画の作成に当たり、前年度までの調査内容や分析結果を参考にした	ż				
	指導改善サイクルを策定し、年間行事予定に組み込み、役割分担を確認した					
調査	≨ ≨実施後					
	全職員で調査内容を把握した					
	調査関連資料をまとめて管理し、職員がいつでも閲覧できるようにした					
	関係職員が問題を研究し、指導改善について協議した					
	関係職員が「解説資料」を研究し、指導改善について協議した					
	問題及び「解説資料」の研究に基づいた指導改善のための校内研修を行った					
結果	2公表後の分析					
	「報告書」を研究し,課題や指導改善のポイントを把握した					
	結果分析を行い、成果と課題を明らかにした					
	□ 教科区分ごとの平均正答率を全国並びに県平均と比較した	*				
	□ 学習指導要領の領域及び問題形式ごとの平均正答率を分析した	*				
	□ 設問ごとの正答率を分析した	*				
	□ 平均正答率の経年変化を分析した	*				
	□ 児童生徒質問紙及び学校質問紙の回答状況を全国及び県平均と比較した	*				
	□ 質問項目ごとの回答状況について分析した	*				
	□ 質問紙の回答状況の経年変化を分析した	*				
	□ 教科と質問紙の相関について分析した	*				
	分析結果を共有した					
	□ 学年で共有した					
	□ 教科部会で共有した					
	□ 学校全体で共有した					
指導	拿改善。 					
	「授業アイディア例」 の研究を行った					
	分析ツール を活用し、指導改善の具体策を立てた	*				
	(結果の概要シート, 結果の推移シート, 誤答分析シート, 教科・質問紙クロス集計シー	<u>})</u>				
Ш	分析結果に基づき指導改善策を策定し、共有した					
	□ 学年で共有した □ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
	□ 教科部会で共有した 					
<u> </u>	□ 学校全体で共有した					
	授業研究を伴う校内研修の充実を図った					
	指導改善による成果の評価を行った					
	成果と課題,指導改善策について,家庭・地域に情報提供を行った					

※ 分析ツール (97ページ参照) で検討資料の作成ができます。

Ⅳ 資料

1 調査の実施状況

(1) 調査実施日 平成28年4月19日 (火)

(2)調査対象

① 国・公・私立学校の以下の学年の原則として全児童生徒を対象とする。

ア 小学校調査 : 小学校第6学年, 義務教育学校前期課程第6学年,

特別支援学校小学部第6学年

イ 中学校調査: 中学校第3学年, 義務教育学校後期課程第3学年,

中等教育学校第3学年,特別支援学校第3学年

② 特別支援学校及び小中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、調査の対象としないことを原則とする。

ア 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒

イ 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の 指導を受けている児童生徒

(3) 千葉県の状況

公立小学校 809 校の約5万2千人・公立中学校 386 校の約4万9千人,合計1,195 校の約10万1千人(特別支援学校を含む)の児童生徒が調査に参加

(4)調査内容

① 児童生徒に対する調査

ア 教科 (国語,算数・数学) に関する調査

- (ア) 小学校調査は、国語・算数とし、中学校調査は、国語・数学とする。
 - ○国語A, 算数A・数学A : 主として「知識」に関する問題(「A」問題)
 - ○国語B, 算数B・数学B : 主として「活用」に関する問題(「B」問題)
- (イ) 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。
 - ○主として「知識」に関する問題は、身に付けておかなければ後の学年等の 学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用でき るようになっていることが望ましい知識・技能などを中心とした出題
 - ○主として「活用」に関する問題は、知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容を中心とした出題
- イ 質問紙調査 (児童生徒質問紙調査)

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施

② 学校に対する質問紙調査(学校質問紙調査)

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施

(5)調査目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や 学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、 そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 学力向上に役立つ情報

平成 28 年度全国学力·学習状況調査 解 説 資 料





調査実施後,教育委員会や学校が 速やかに児童生徒の学力・学習状 況や課題等を把握し,指導の改 善・充実に取り組めるよう作成。

▶5月に教育委員会及び学校に配付。 ▶小学校国語,小学校算数,中学 校国語,中学校数学

Webサイト

国立教育政策研究所

- →トピックス
- 全国学力・学習状況調査
- →平成28年度調査
- →調査問題・正答例・ 解説資料

平成 28 年度全国学力·学習状況調査 報告書





児童生徒の学力・学習状況を総合 的に分析・評価するため,各教科 等の平均正答率だけでなく,個々 の設問や領域等に着目して学習指 導上の課題を分析している。

▶文部科学省による調査結果の公表時に教育委員会及び学校に配付。 ▶小学校国語,小学校算数,中学校国語,中学校数学,質問紙調査

Webサイト

国立教育政策研究所

- →トピックス
- 全国学力・学習状況調査
- →平成28年度調査
- →報告書・調査結果資料

授業アイディア例





調査結果を踏まえて、学校が授業 の改善・充実を図る際の参考とな るよう、授業のアイディアの一例 を示すものとして作成。授業や研 修会等で活用できる。

- ▶教育委員会及び学校に配付。
- ▶小学校(国語・算数), 中学校(国語・数学)

Webサイト

国立教育政策研究所

- →トピックス
- 全国学力・学習状況調査
- →平成28年度調査
- →全国学力・学習状況調査 の調査結果を踏まえた 学習指導の改善・充実に 向けた説明会 説明資料等
- →授業アイディア例

平成28年度全国学力・学習状況調査の結果について(速報版リーフレット)



千葉県の児童生徒の調査結果をまとめ、10月に速報版としてリーフレットを学校に配付。11月を中心に県内8会場で実施される「学力向上交流会」でも配付。

(さらに詳細に分析したものが本報告書)

Webサイト

千葉県総合教育センター

- →全国学力・学習状況調査
- →平成28年度調査

分析ツール



市町村教育委員会及び学校による 全国学力・学習状況調査の結果分析を支援するためのデータ処理 ソフト。「結果の概要」「結果の推 移」「誤答分析」「教科・質問紙クロス集計」の各種シートを作成で

Webサイト

千葉県総合教育センター

- →全国学力・学習状況調査
- →平成28年度調査

学力向上交流会



協力校(小・中学校)と県立高等学校において授業公開を実施したり,ちばっ子「学力向上」総合プランをテーマに意見交換会を行ったり,「魅力ある授業づくりの達人」などの優れた授業実践や研究推進校における成果などを伝えたり,協議したりする場。11月を中心に実施。

Webサイト

千葉県教育委員会

- →学校教育
- →学力向上
- →Act.3 子どもいきいき 「授業力アップ」プラン
- →学力向上交流会

「学力・学習状況」検証事業



児童・生徒の学力向上を目的として,全国学力・学習状況調査の結果等をもとに,協力校が自校の学力・学習状況調査の把握及び分析を行い,課題解決に向けた取組を行う。

Webサイト

千葉県教育委員会

- →学校教育
- →学力向上
- →Act.4「評価改善」 アクティブプラン
- →「学力・学習状況」 検証事業

ちば「授業練磨の公開日」



11月の「学力向上月間」を中心に、 県内全ての公立学校で授業公開を 実施することで、教員が他校の優れ た授業を見合う機会とし、授業力の 向上を図る。教員は異校種を含めた 授業を参観することで、授業改善な ど力量向上を図ることができる。

Webサイト

千葉県教育委員会

- →学校教育
- →学力向上
- →Act.3 子どもいきいき 「授業力アップ」プラン
- →ちば「授業練磨の公 開日」

能動的自立研修



「千葉県教職員研修体系」で今後 の研修の在り方の一つとして示された新たな研修プログラム。パソコンを活用して行う自主研修ツールで,自己診断から始めて,各自の課題に合わせた研修を自ら計画,実践することができる。

Webサイト

千葉県総合教育センター →能動的自立研修

「思考し、表現する力」を高める 実践モデルプログラム



児童生徒が意欲的に取り組み,思考力・判断力・表現力を高める授業づくりのために開発されたモデルプログラム。「見出す」「調べる」「深める」「まとめあげる」の4つのプロセスで構成される指導事例(小・中学校の各教科・領域)も掲載されている。

Webサイト

千葉県教育委員会

- →学校教育
- →学力向上
- →その他の学力向上 プロジェクト事業
- →「思考し,表現する力」 を高める実践モデル プログラム

授業テクニカルアドバイス



小学校の若手教員に「学習指導で困ったこと」についてアンケート調査を行って作成したQ&A集。 ▶国語,算数,理科,社会,外国語活動

Webサイト

千葉県総合教育センター →学力向上に役立つ情報 →授業テクニカルアドバイス

授業づくりガイドブック(改訂版)



「授業企画」「授業展開力」「実態把握力」「授業改善力」の4つの力を伸ばすためには、何をどのようにすればよいのか、具体的にわかりやすく示している。これらの力を総合的に向上させることで児童生徒の確かな学力の定着を図る。

Webサイト

千葉県総合教育センター →カリキュラムサポート室 →ガイドブックダウンロード

学びの突破ロガイド



国語,算数,理科について,児童が つまずきやすい内容を中心に,効果 的な指導方法等をまとめた指導用 冊子。つまずきやすい学習上の課題 に対し,解決の糸口を与え,学習内 容を確実に定着させるためにワー クシートとして活用できる児童用 の冊子(高学年版・中学年版・低学 年版)とともに小学校に配付。

Webサイト

千葉県教育委員会

- →学校教育
- →学力向上
- →Act.2「子どもたちの 夢・チャレンジ」 サポートプラン
- →学びの突破口ガイド

ちばっ子チャレンジ 100 (児童)



全国学力・学習状況調査(小学校の国語・算数・理科)を参考にして作成した,基礎・基本となる問題や思考力を高める問題。授業,朝自習,家庭学習資料として幅広く活用できる。

▶小学校3~6年

Webサイト

千葉県教育委員会

- →学校教育
- →学力向上
- →Act.2「子どもたちの 夢・チャレンジ」 サポートプラン
- →ちばっ子チャレンジ 100

「ちばのやる気」学習ガイド (生徒)



学習内容への見通しを持たせ、学習意欲を高めさせる教材。習熟の程度に応じて取り組むことができる。

- ▶中学校各学年版を学校に配付。
- ▶本ガイド準拠の評価問題をWeb サイトで配信。

Webサイト

千葉県教育委員会

- →学校教育
- →学力向上
- →Act.2「子どもたちの 夢・チャレンジ」 サポートプラン
- →「ちばのやる気」学習 ガイド

学習サポーター派遣事業



児童生徒の基礎学力や学習意欲の向上を図るため、小・中学校に退職教員等を派遣し、放課後の補習等による学習支援、少人数指導や習熟度別指導などの授業支援等を行う。県下180校に1名ずつ派遣している。

Webサイト

千葉県教育委員会

- →学校教育
- →学力向上
- →Act.2「子どもたちの 夢・チャレンジ」 サポートプラン
- →学習サポーター派遣 事業

「お兄さん,お姉さんと学ぼう」



小・中学生にとって身近な「お兄さん,お姉さん」である高校生が,近隣の小・中学校等に出向き,学習支援や課外活動の援助を行う。楽しく学ぶ機会,いつもと一味違う体験的な学習をとおして,学ぶ意欲の向上を図る。

Webサイト

千葉県教育委員会

- →学校教育
- →学力向上
- →Act.1 興味ワクワク 「読書体験学習」 チャレンジプラン
- →「お兄さん、お姉さんと学ぼう」事業

「家庭学習のすすめ」サイト





学習習慣の定着や家庭学習への理解の促進を図るために,保護者向けリーフレットや,児童生徒向け学習プリント,手引きモデル例を配信。

▶児童,保護者及び小中学校教員向け。

Webサイト

千葉県教育委員会

- →学校教育
- →学力向上
- →Act.2「子どもたちの 夢」チャレンジサポ ートプラン
- →家庭学習のすすめ

確かな学びの早道「読書」事業



学校図書館の活用による児童生徒の学習意欲の向上を目指して,実践協力校による学校図書館を有効に活用した学習の事例を「実践記録集」としてまとめ,県内各校に提供するなど,読書活動の一層の推進を図っている。

Webサイト

千葉県教育委員会

- →学校教育
- →学力向上
- →Act.1 興味ワクワク 「読書体験学習」 チャレンジプラン
- →確かな学びの早道 「読書」事業